

■ごみ組成分析調査結果（平成13年度）

1 目的

家庭から排出されるごみの組成と分別状況を調査するとともに、資源分別回収によって回収されている資源物の分別状況と排出状況について調査する。

2 調査対象

世田谷清掃事務所管内のごみ集積所を住居形態ごと（一戸建て、アパート等混在、マンション）に分類し、サンプリングした可燃ごみ及び不燃ごみ

◆3分類(住居形態別)×8か所×2種類(可燃および不燃ごみ)＝48サンプル

3 調査期間

平成13(2001)年11月19日(月)～21日(水)の3日間

4 調査結果の概要

(1) 平成13年度の傾向・特徴

- ①可燃ごみの40.7%は生ごみである。不燃ごみの34.0%は容器包装プラスチックであり、プラスチック類全体で不燃ごみの過半を占めている。資源分別回収の全区展開により、ごみに占める資源化可能物の割合が大幅に減少した分、現在資源化ルートのないこれらの品目の割合が相対的に高まっている。
- ②資源化可能物の割合が可燃ごみの18.3%、不燃ごみの23.9%と、引き続き減少している。また、可燃ごみに占める不燃物の割合は7.3%、不燃ごみに占める可燃物の割合は9.3%で、過去2年間概ね減少傾向にある。前年度のようなシステムの変更はなかったものの、PR・啓発の効果によりごみや資源の分別が区民の間に浸透した成果であると考えられる。

(2) 分析結果

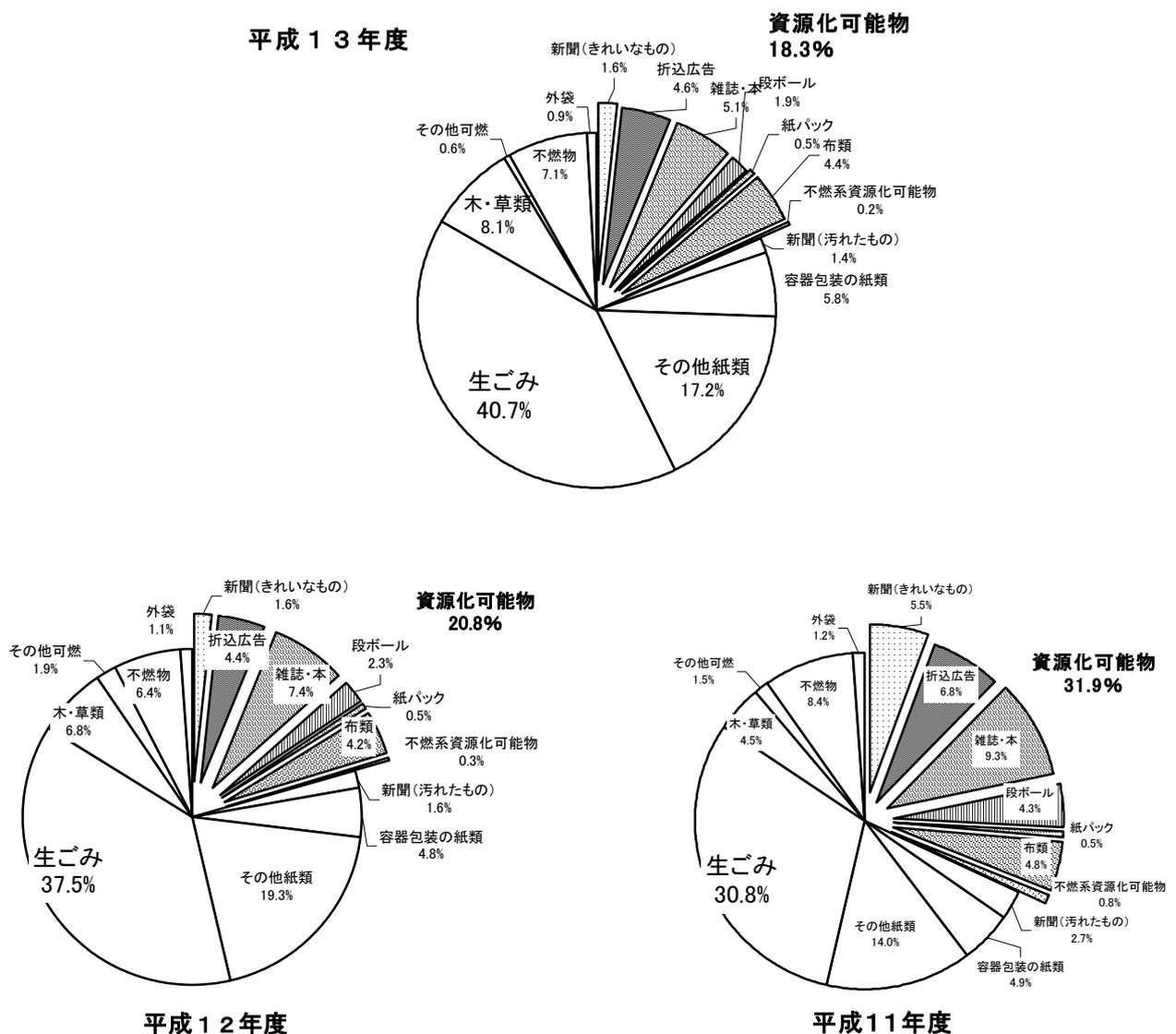
①可燃ごみの組成

可燃ごみの組成は、生ごみが40.7%と最も多く、次いで、その他紙類17.2%、木・草類8.1%、不燃物7.3%、容器包装の紙類5.8%などとなっており、生ごみが約4割を占めている。

可燃ごみに占める資源化可能物〔新聞（きれいなもの）、折込広告、雑誌・本、段ボール、紙パック、布類、不燃系資源化可能物〕の割合は18.3%で、資源分別回収の全区展開前の平成11年度より13.6ポイント、平成12年度より2.5ポイント減少している。品目別の傾向をみると、資源分別回収対象品目の古紙類は、平成11年度と比較して大幅に減少しているが、紙パックと布類については変化がみられない。

可燃ごみ中の不燃物の割合は7.3%である。

図1 可燃ごみの組成



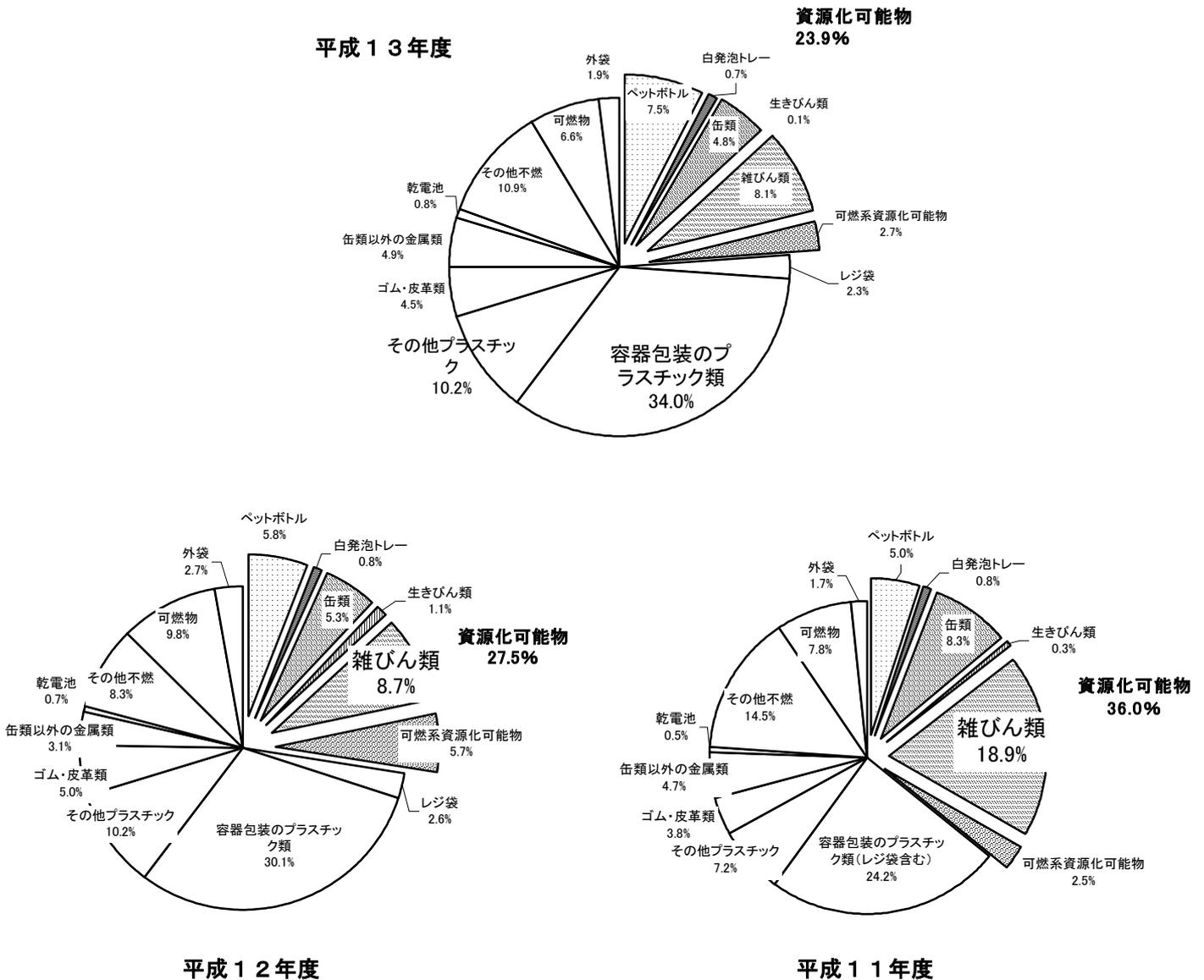
②不燃ごみの組成

不燃ごみの組成は、容器包装プラスチック類が34.0%、次いで、その他不燃物が10.9%、その他プラスチックが10.2%、雑びんが8.1%、ペットボトルが7.5%などとなっており、プラスチック類が全体の半分以上を占めている。

不燃ごみに占める資源化可能物〔ペットボトル、白発泡トレー、缶類、生きびん類、雑びん類、可燃系資源化可能物〕は23.9%で、資源分別回収の全区展開前の平成11年度より12.1ポイント、平成12年度より3.6ポイント減少している。品目別の傾向をみると、資源分別回収対象品目のガラスびん類、缶類は、平成11年度と比較して大幅に減少しているが、白発泡トレーは横ばい、ペットボトルは増加傾向がみられる。

不燃ごみ中の可燃物の割合は9.3%である。

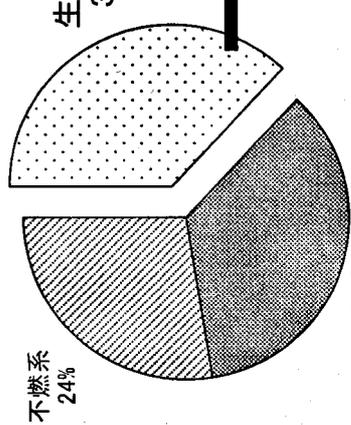
図2 不燃ごみの組成



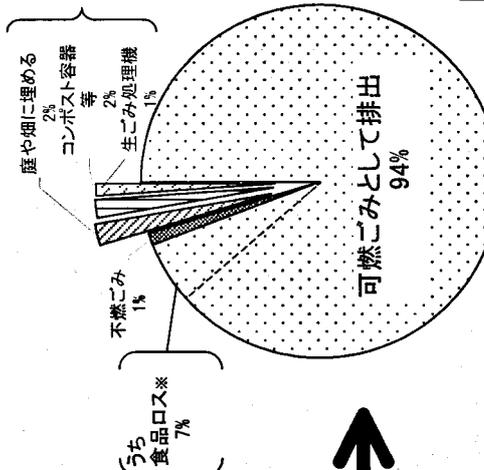
■家庭系生ごみ減量の取組みと効果について（シミュレーション）

家庭系生ごみ減量の取組みと効果について（シミュレーション）

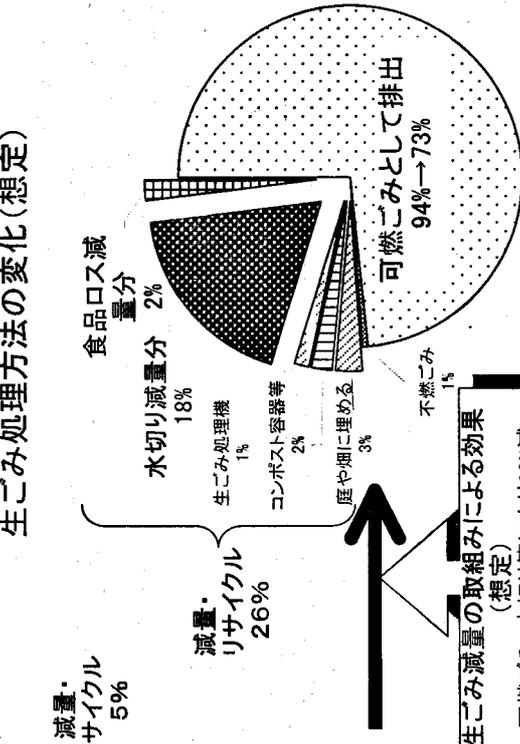
1 家庭ごみの組成



2 生ごみの処理方法



3 生ごみ減量の取組みによる生ごみ処理方法の変化(想定)

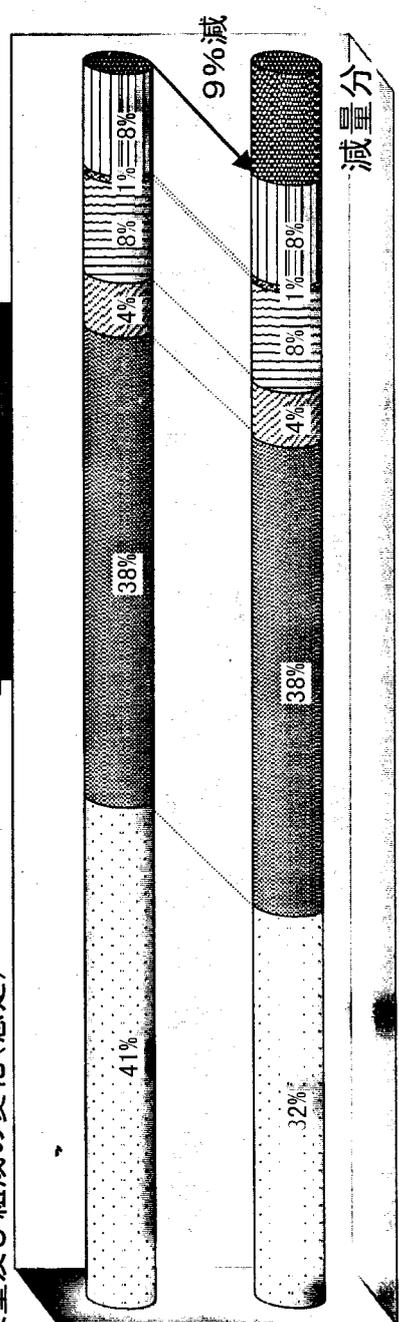


生ごみ減量の取組みによる効果(想定)

- 可燃ごみ: 水切り等により20%減
- 食品ロス: 普及啓発により30%減
- 不燃ごみ: 分別徹底等により50%減
- 庭や畑に埋める: 20%増
- コンポスト容器: 20%増
- 生ごみ処理機: 20%増

ごみの組成(平成13年度 ごみ組成分析調査)

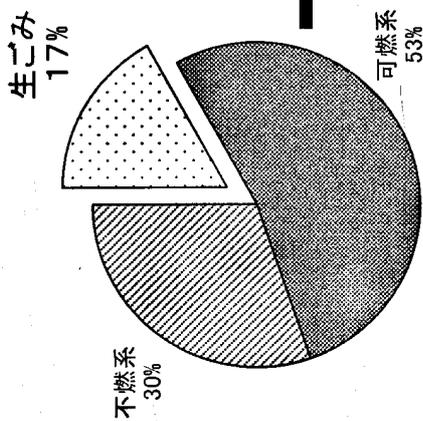
4 生ごみ減量の取組みによる可燃ごみ収集量及び組成の変化(想定)



■事業系生ごみ減量の取組みと効果について（シミュレーション）

事業系生ごみ減量の取組みと効果について（シミュレーション）

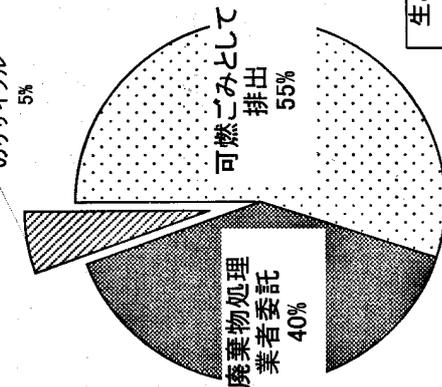
1 事業系ごみの組成



ごみの組成（平成8年度 排出原等ごみ性状調査（東京都））

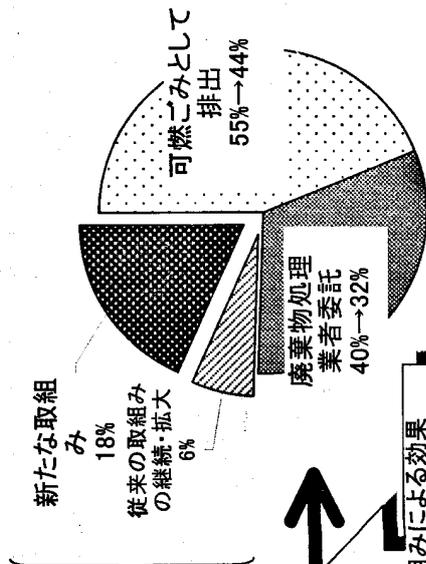
2 生ごみの処理方法

コンポスト化等のリサイクル



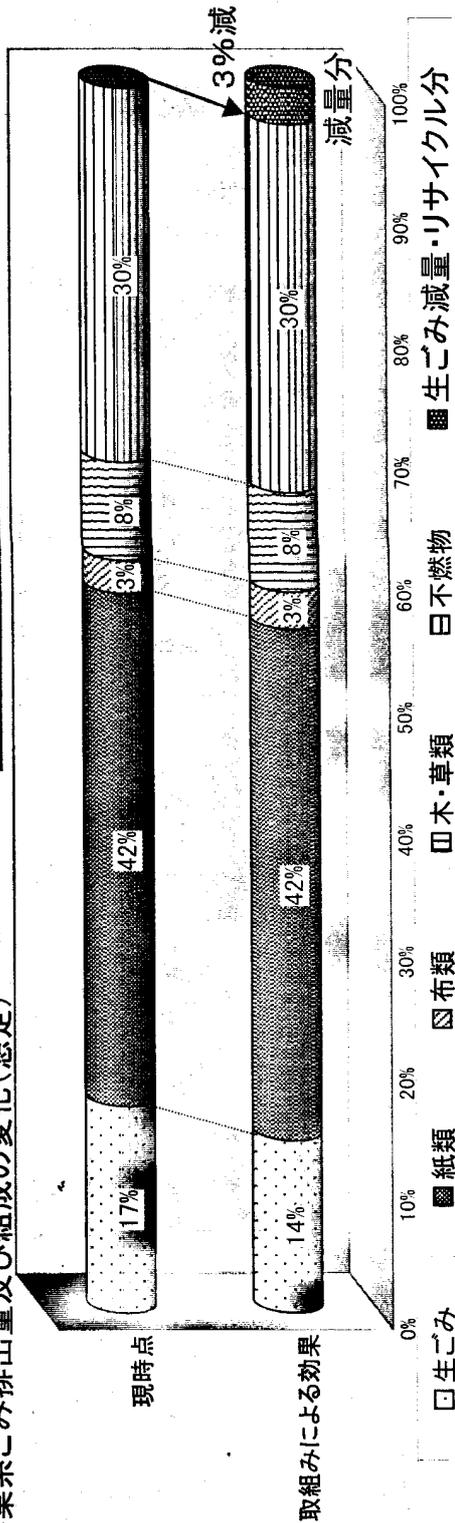
生ごみの処理方法（平成10年度 事業系不用品の物流推計調査）

3 生ごみ減量の取組みによる生ごみ処理方法の変化（想定）



生ごみ減量の取組みによる効果（想定）
 メニューの工夫、食材の有効活用
 肥料化・飼料化等の再生利用
 水切り・脱水・乾燥等の減量により20%減

4 生ごみ減量の取組みによる事業系ごみ排出量及び組成の変化（想定）



世田谷区事業用大規模建築物データファイル

世田谷区内の事業用大規模建築物の所有者の皆様には、ごみの減量と再利用の促進のため毎年度再利用計画書の作成と世田谷区（各清掃事務所）への提出が義務付けられています。

このデータは、昨年、皆様から提出された再利用計画書のごみ量等の実績（平成12年度）を集計したものです。

今回から一般廃棄物のみの集計のため、昨年度以前との比較はできません。

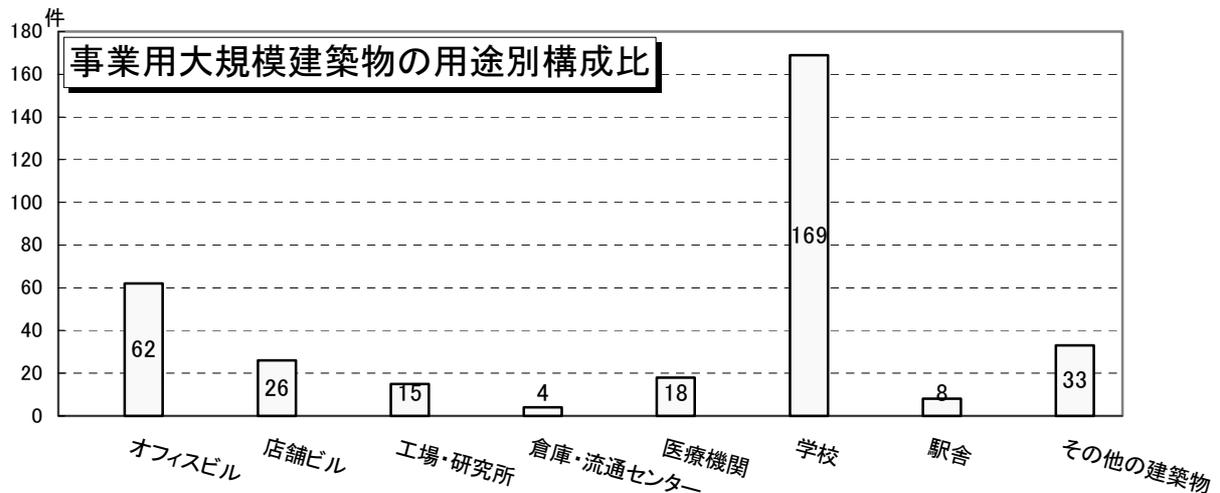
また、処分量の中には、リサイクル可能な資源が含まれています。

所有者、廃棄物管理責任者の皆様は、ごみを減らすため、より一層の「3つのR（リデュース（減量）、リユース（再使用）、リサイクル（再利用）」を実行しましょう。

延べ床面積が3,000㎡以上の事業用大規模建築物数 335件

総延床面積 3,859,134.5㎡

区分	発生量 (t)	再利用量 (t)	処分量 (t)	再利用率 (%)
可燃物計	24108.1	11607.9	12500.2	48.1
不燃物計	6986.2	3134.7	3851.5	44.9
粗大ごみ	1569.9	239.1	1330.8	15.2
合計	32664.2	14981.7	17682.5	45.9



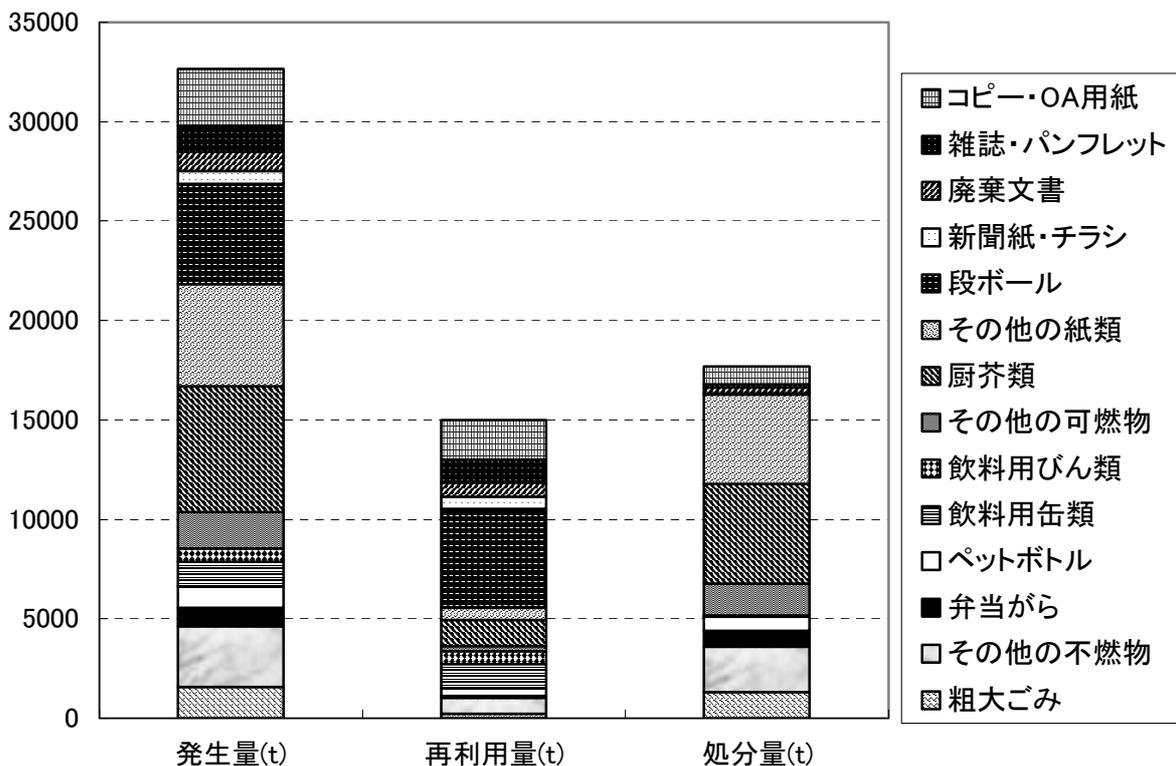
事業用大規模建築物の用途別件数とごみ量（平成12年度） 単位 (t)

建築物の用途	件数	構成比	発生量	構成比	再利用量	構成比	処分量	構成比	再利用率
オフィスビル	62	18.5%	7858.2	24.1%	4118.4	27.5%	3739.8	21.1%	52.4%
店舗ビル	26	7.8%	9282.2	28.4%	5090	34.0%	4192.2	23.7%	54.8%
工場・研究所	15	4.5%	911.7	2.8%	318	2.1%	593.7	3.4%	34.9%
倉庫・流通センター	4	1.2%	390.5	1.2%	239.4	1.6%	151.1	0.9%	61.3%
医療機関	18	5.4%	3599.4	11.0%	1070.6	7.1%	2528.8	14.3%	29.7%
学校	169	50.4%	7481.9	22.9%	3078.3	20.5%	4403.6	24.9%	41.1%
駅舎	8	2.4%	517.6	1.6%	324.8	2.2%	192.8	1.1%	62.8%
その他の建築物	33	9.9%	2622.7	8.0%	742.2	5.0%	1880.5	10.6%	28.3%
合計	335	100%	32664.2	100%	14982	100%	17683	100%	45.9%

ごみの種類別内訳（平成12年度）

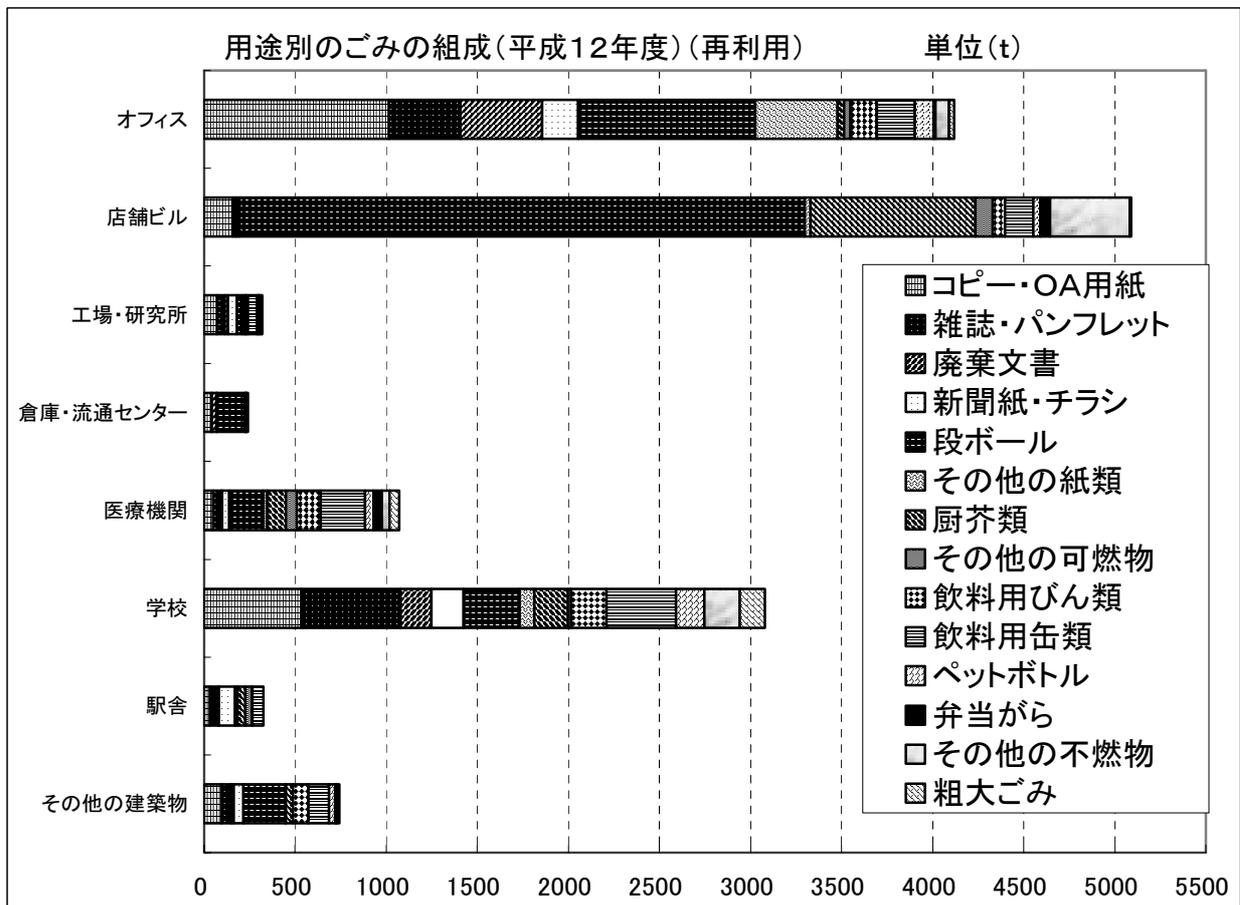
ごみの種類	発生量(t)	構成比	再利用量(t)	構成比	処分量(t)	構成比	再利用率(%)
コピー・OA用紙	2,874.0	8.8%	1,992.9	13.3%	881.1	5.0%	69.3%
雑誌・パンフレット	1,304.2	4.0%	1,142.0	7.6%	162.2	0.9%	87.6%
廃棄文書	974.1	3.0%	689.9	4.6%	284.2	1.6%	70.8%
新聞紙・チラシ	644.6	2.0%	622.2	4.2%	22.4	0.1%	96.5%
段ボール	5,032.7	15.4%	4,995.4	33.3%	37.3	0.2%	99.3%
その他の紙類	5,124.6	15.7%	605.8	4.0%	4,518.8	25.6%	11.8%
厨芥類	6,323.7	19.4%	1,310.8	8.7%	5,012.9	28.3%	20.7%
その他の可燃物	1,830.2	5.6%	248.9	1.7%	1,581.3	8.9%	13.6%
可燃物合計	24,108.1	73.8%	11,607.9	77.5%	12,500.2	70.7%	48.1%
飲料用びん類	675.8	2.1%	638.1	4.3%	37.7	0.2%	94.4%
飲料用缶類	1,254.3	3.8%	1,220.4	8.1%	33.9	0.2%	97.3%
ペットボトル	1,084.4	3.3%	384.3	2.6%	700.1	4.0%	35.4%
弁当がら	921.6	2.8%	113.5	0.8%	808.1	4.6%	12.3%
その他の不燃物	3,050.1	9.3%	778.4	5.2%	2,271.7	12.8%	25.5%
不燃物合計	6,986.2	21.4%	3,134.7	20.9%	3,851.5	21.8%	44.9%
粗大ごみ	1,569.9	4.8%	239.1	1.6%	1,330.8	7.5%	15.2%
総合計	32,664.2	100.0%	14,981.7	100.0%	17,682.5	100.0%	45.9%

ごみの種類別各構成比（平成12年度）



用途別のごみの組成（平成12年度）（再利用率） 単位（t）

再利用率	オフィス	店舗ビル	工場・ 研究所	倉庫・ 流通センター	医療機関	学校	駅舎	その他の 建築物
コピー・OA用紙	1,013.2	158.7	71.8	38.9	49.2	534.1	31.4	95.6
雑誌・パンフレット	392.4	15.9	41.4	5.1	46.6	542.3	45.0	53.3
廃棄文書	449.6	7.4	16.2	22.2	4.3	171.3	6.5	12.4
新聞紙・チラシ	199.2	10.9	49.3	5.5	38.5	176.4	87.7	54.7
段ボール	970.2	3,105.6	29.7	150.2	187.8	308.9	12.0	231.0
その他の紙類	455.3	31.3	13.8	3.9	18.4	79.5	0.0	3.6
厨芥類	35.3	904.4	2.6	0.0	102.6	184.7	43.1	38.1
その他の可燃物	34.7	96.5	3.6	0.0	61.0	18.8	34.3	0.0
飲料用びん類	143.6	67.7	10.4	2.4	131.3	193.7	6.2	82.8
飲料用缶類	210.0	155.9	51.9	3.4	245.6	382.1	58.0	113.5
ペットボトル	100.9	38.9	7.8	0.6	44.9	153.6	0.6	37.0
弁当がら	10.0	52.9	0.5	0.0	45.6	1.2	0.0	3.3
その他の不燃物	76.4	437.9	17.3	7.2	42.6	194.8	0.0	2.2
粗大ごみ	27.6	6.0	1.7	0.0	52.2	136.9	0.0	14.7
合計	4,118.4	5,090.0	318.0	239.4	1,070.6	3,078.3	324.8	742.2



用途別のごみの組成（平成12年度）（処分量）

単位（t）

処分量	オフィス	店舗ビル	工場・ 研究所	倉庫・ 流通センター	医療機関	学校	駅舎	その他の 建築物
コピー・OA用紙	410.6	9.4	16.2	5.8	178.8	185.7	4.3	70.3
雑誌・パンフレット	52.1	1.4	11.2	1.0	8.6	62.7	4.7	20.5
廃棄文書	170.7	4.4	8.8	6.0	31.0	53.2	2.8	7.3
新聞紙・チラシ	2.4	1.0	0.5	0.3	3.4	11.3	0.0	3.5
段ボール	0.8	0.8	0.8	13.5	2.3	16.0	0.0	3.1
その他の紙類	1,085.3	1,519.4	179.0	43.5	499.2	953.3	133.9	105.2
厨芥類	691.0	1,970.7	70.4	14.1	888.9	1,032.9	12.4	332.5
その他の可燃物	22.7	21.6	5.3	0.0	144.6	472.7	0.0	914.4
飲料用びん類	3.2	3.5	0.8	3.0	6.2	17.6	0.0	3.4
飲料用缶類	0.8	2.8	1.1	4.5	1.8	16.7	0.0	6.2
ペットボトル	129.3	4.2	57.0	8.2	209.1	269.2	1.2	21.9
弁当がら	168.2	219.8	23.3	9.1	230.6	143.6	0.0	13.5
その他の不燃物	918.0	49.1	184.2	35.5	283.3	623.7	33.5	144.4
粗大ごみ	84.7	384.1	35.1	6.6	41.0	545.0	0.0	234.3
合計	3,739.8	4,192.2	593.7	151.1	2,528.8	4,403.6	192.8	1,880.5

